

## 新・ぶんかざいはいけん 熊谷市



国宝「歓喜院聖天堂」の極彩色彫刻

### 熊谷市の歴史と文化財

二十一世紀に入り、二度の合併によって熊谷・大里・妻沼・江南の四市町が合併し、「熊谷市」は新たな一歩を踏み出しました。

本市の歴史の幕開けは、旧石器時代と考えられ、豊かな自然に恵まれる中で縄文時代から弥生時代へと連続とした人々の営みがありました。古墳時代には国指定史跡「宮塚古墳」をはじめ多くの古墳が築造され、奈良・平安時代については、幡羅・西別府官衙遺跡群などの存在が確認されており、その当時の歴史を解明するための重要な遺跡に位置付けられています。

平安時代以降においては、多くの武士団が出現し、熊谷次郎直実、斎藤別当実盛など後世に名を残す武士が活躍しました。江戸時代には中山道の宿場町として栄え、秩父往還などの街道、さらに荒川・利根川には渡船場や河岸があり、交通の要衝として発展しました。

妻沼には国宝「歓喜院聖天堂」が建造され、日本を代表する装飾建築の美とその歴史を今に伝えて

います。

近代日本が動き出して間もない明治時代初頭には、入間県と群馬県の一部とを合わせた熊谷県が誕生しました。その頃、多くの先覚者たちが、産業や文化など多方面で活躍し、熊谷地域の発展の基礎を築きました。明治時代から大正時代にかけて、産業・農業・文化の各分野における多様な取り組みが地域の特色を育んできました。

昭和時代以降、本市は県北の雄都としての誇りとともに周辺の地域との調和を図りながら、躍動的な産業の発展と芸術文化の振興を進めています。

本市の歴史・文化を伝える国・県・市指定の文化財は、地域のアイデンティティを醸成する役割を果たしています。多様な文化財はその地域の自然環境、歴史的に育まれた文化的・社会的活動の蓄積として極めて重要な共有の財産であるといえます。



国指定史跡「宮塚古墳」

### 熊谷市における文化財の動向

本市の歴史を今に伝える多様な文化財と文化遺産はかけがえのない存在であり、様々な政策と関係があるとともに、郷土の文化振興を進める役割を担っています。新たな市となって以降、文化財分野では、妻沼聖天山本殿「歓喜院聖天堂」の国宝指定や、常光院の仏画「絹本着色阿彌陀聖衆來迎図」の重要文化財指定、「西別府祭祀遺跡出土遺物」及び「諏訪神社本殿」の県文化財指定、熊谷うちわ祭「熊谷八坂神社祭礼行事」の市文化財指定などをはじめ、市内遺跡発掘調査での様々な成果もあり、文化財を通じた多様な取り組みが進められてきました。

### 国宝「歓喜院聖天堂」

歓喜院聖天堂は、享保二十年（一七三五）から宝暦十年（一七六〇）に掛けて、林兵庫正清及び正信らによって建立されました。これまでに知られていた彫刻技術の高さに加え、修理の過程で明らかになった漆の使い分けなどの高度な技術が駆使された近世装飾建築の頂点をなす建物であること、またそのような建物の建設が民衆の力によって成し遂げられた点が、文化史上高い価値を有すると評価され、平成二十四年に国宝に指定されました。

日光東照宮の創建から百年あまり後、装飾建築の成熟期となった時代に、棟梁の統率の下、東照宮

の修復にも参加した職人たちによって、優れた技術が惜しみなくつぎ込まれた聖天堂は、「江戸時代建築の分水嶺」とも評価され、江戸後期装飾建築の代表例です。



奥殿大羽目彫刻「囲碁打ち」

### 国指定重要文化財「平山家住宅」

中世の館跡に建てられた平山家住宅は江戸時代中期の建築で、関東地方でも有数の農家住宅として、国重要文化財に指定されています。入母屋造りの大屋根は低く、巨大で六十畳敷の土間と五つの部屋を有しています。組み上げられた湾曲した松材は力づくよく大屋根を支えています。



重要文化財「平山家住宅」

平山家の背後には江戸時代からの用水が流れ、往時と変わらぬ玉石積み掘り割りがあり、同家の

周囲には堀や土塁などの遺構を確認することができます。

### 埴輪の故郷

熊谷では、重要文化財の「馬形埴輪」や「短甲武人埴輪」、東京国立博物館のマスクットキャラクターとして全国的に知られる「踊る人々」を筆頭に数多くの埴輪が出土しています。埴輪を作った窯跡も確認されていることから、古代の埴輪の故郷ともいえます。



「踊る人々」  
(東京国立博物館所蔵)

埴輪窯には、窯を設営できる斜面があり、原料となる粘土、燃料となる樹木が容易に入手できるといった条件が必須です。この条件を満たした江南台地の北側斜面には姥ヶ沢(うばがさわ)遺跡と権現坂埴輪窯跡群が確認されています。二つの遺跡からは様々な埴輪が出土し、五世紀後半以降の埴輪作りの様子を明らかにしています。人物埴輪や馬形埴輪、円筒形の上部が花卉のように開いている朝顔形円筒埴輪などが製作され、技術水準の高さを見ることが出来ます。熊谷市では多様な文化財について、熊谷市立江南文化財センター及び「熊谷デジタルミュージアム」において積極的な情報発信を進めています。